

歳入▶

地方交付税…全ての市町村で一定水準のサービスが受けられるように国が交付するお金

国・県支出金…特定事業のために国や県から交付されるお金

地方消費税交付金…消費税収の一部の中から、町の人口や事業所従業員数などを基に分配されるお金

歳出▶

人件費…町長や町職員の給料、町議会議員や各種委員等の報酬

物件費…消耗品の購入費、通信費や公共施設の管理費などの経費

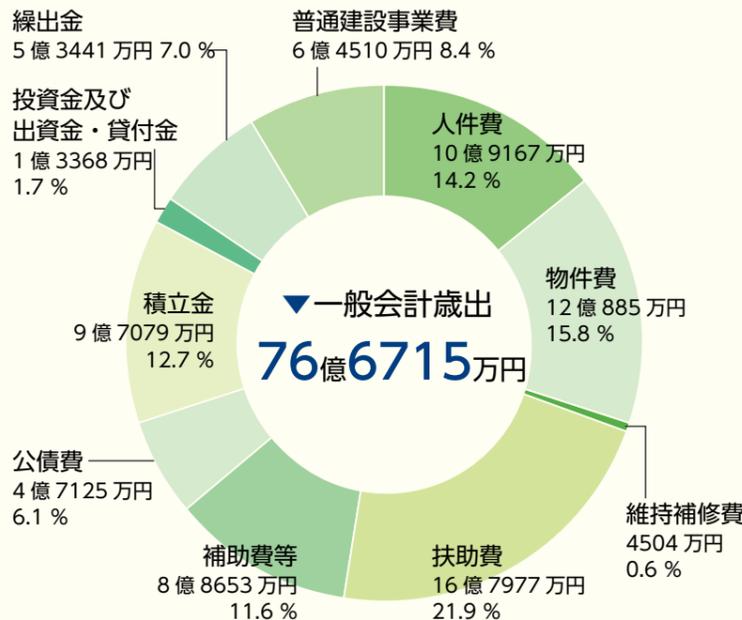
維持補修費…施設等の維持管理等に必要経費

扶助費…高齢者や乳幼児等の医療費助成、児童手当の給付など社会保障に必要な経費

補助費等…足柄西部清掃組合や小田原市斎場運営などへの負担金、各種団体への補助金

公債費…町債（町の借金）と一時借入金の元本と利子の返済金

普通建設事業費…道路や公園、学校、庁舎などの公共施設を建設する経費



プレミアム付商品券の発行

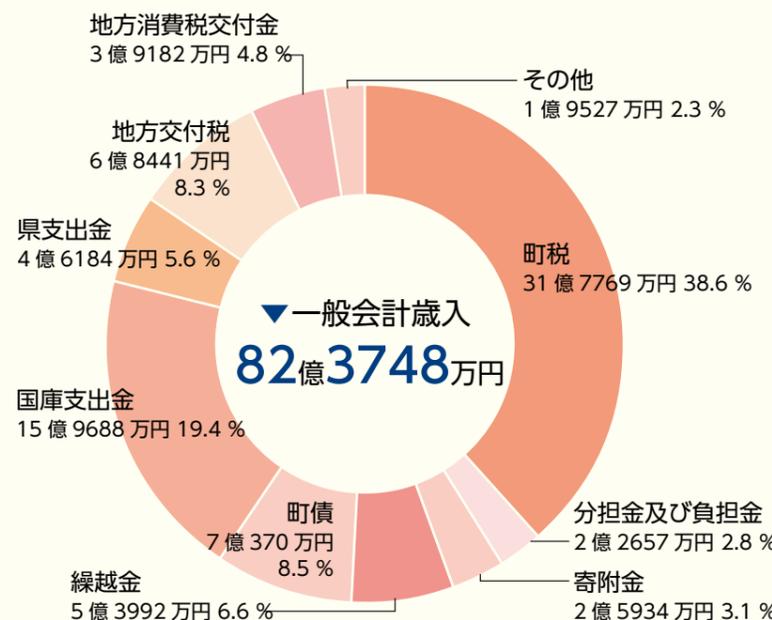


プレミアム率100%の商品券を発行し、町内の商工振興を図りました。

コロナウイルスワクチン接種



18歳以上の全世代で2回目接種率が9割を超えました（年度末時点）。



文命中学校大規模改修



屋上防水や外壁塗装、体育館の塗装など、教育環境の向上を図りました。

町民センター改修



キッズライブラリーや町民活動サポートセンターを設置しました。

一般会計の決算は、歳入が82億3千748万円（前年度比7・4%減）、歳出が76億6千715万円（前年度比8・3%減）でした。特別会計と企業会計を合わせた決算は、歳入が126億3千998万円（前年度比3・3%減）、歳出が120億7055万円（前年度比4・8%減）でした。一般会計の翌年度に繰り越



すべき財源を差し引いた実質収支は5億2千812万円です。黒字となり、健全財政を維持しています。

令和3年度決算報告

財務課 84-10322

指標等の説明▶

実質赤字比率…一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率

連結実質赤字比率…全ての会計の赤字・黒字を合算し、市町村全体としての赤字の程度を示す比率

実質公債費比率…借入金の返済分等の大きさを指標化し、財政負担を見るための比率

将来負担比率…借入金や将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、将来の負担を示す比率

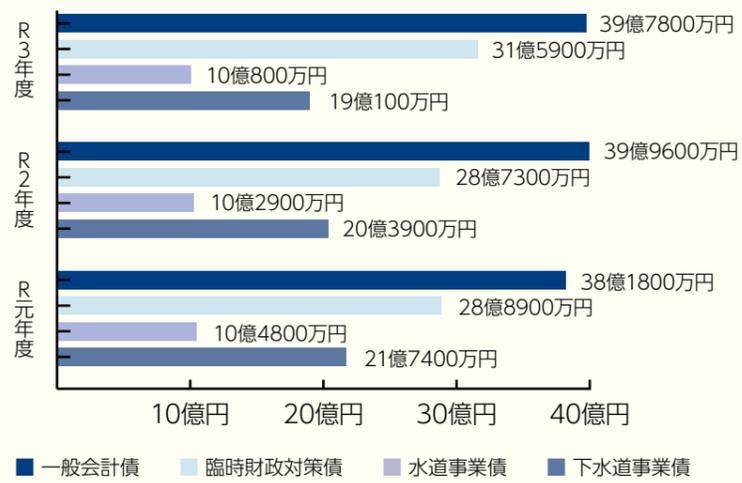
早期健全化基準…財政状況が悪化し、自主的かつ計画的に改善を図る必要があるとされる基準

財政再生基準…財政状況が著しく悪化し、自主的な改善が困難であるとされ、国の監視下に置かれる基準

経営健全化基準…公営企業の経営状況の悪化により、自主的かつ計画的に改善を図る必要があるとされる基準

臨時財政対策債…本来は地方交付税により収入するべきお金で、国の財源不足により町が金融機関等から借り入れているお金

▼町債（各年度末残高）



▼公営企業の資金不足比率

会計名	開成町	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業会計	—	

▼特別会計・企業会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	16億6123万円	15億8599万円
介護保険事業特別会計	13億 71万円	12億3930万円
給食事業特別会計	9900万円	9812万円
後期高齢者医療事業特別会計	2億4828万円	2億4768万円
駅前通り線周辺地区 土地区画整理事業特別会計	7676万円	3989万円
水道事業会計	3億1606万円	4億3342万円
下水道事業会計	7億 46万円	7億5900万円
合計	44億 250万円	44億 340万円

▼財政健全化判断比率

指標	開成町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	5.1	25.0	35.0
将来負担比率	23.8	350.0	—

TOPIC

駅周辺の土地区画整理事業を円滑に推進するために、「駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計」を新設しました。昨年度に、事業計画が決定し、公共用地に充てる土地等の買収や仙了川に架ける新橋の予備設計を実施するなど、本格的なスタートを切っています。

